

平成 28 年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

事業名：(日本語) 未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業
(英語) Development of Medical Devices and Systems for Advanced Medical Services

研究開発課題名：(日本語) 医療情報の高度利用による医療システムの研究開発
(英語) Research and Development of the Advanced Medical System by use of Medical Information

研究開発担当者 (日本語) 慶應義塾大学医学部 教授 坂元亨宇
所属 役職 氏名：(英語) Keio University School of Medicine, Professor, Michiie Sakamoto

実施期間：平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) がん診断・治療ナビゲーションシステムの研究開発
開発課題名：(英語) Research and Development of Navigation System for Cancer Diagnosis and Treatment

研究開発分担者 (日本語) 慶應義塾大学医学部 教授 坂元亨宇
所属 役職 氏名：(英語) Keio University School of Medicine. Professor, Michiie Sakamoto

II. 成果の概要 (総括研究報告)

研究開発代表者：国立大学法人北海道大学 大学院医学研究院 内科系部門 放射線科学分野 放射線医学教室 教授 白土 博樹 総括研究報告を参照。

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧 (国内誌 0 件、国際誌 0 件)
特になし

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 「ミクロとマクロの病理画像の位置同期システムの研究開発」について、口頭、坂元亨宇、第 36 回医療情報学連合大会シンポジウム 03 高次医療連携システムによる医療情報の有効活用について～患者と医療者のためのがん治療の道標の可視化～、2016/11/22, 国内.

2. 「病理情報化システムの開発と課題」について、口頭、橋口明典、阿部時也、坂元亨宇、第 106 回病理学会総会 ワークショップ 6 Information Technology と病理診断～ビッグデータから deep learning まで～、2017/4/28、国内.
3. 「病理診断過程の可視化を目的としたカメラ・ステージ・システムの開発」について、ポスター、橋口明典、阿部時也、坂元亨宇、第 106 回病理学会総会 ポスター発表（一般）99 深層学習と画像解析、2017/4/29、国内.

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み
特になし

(4) 特許出願
特になし